

バーチャル空間でライトな面談の場を

MNキャリア代表 高橋さんに聞く

若手人材育成などに活用



バーチャル面談プログラムで若手人材育成を目指すキャリアコンサルタントの高橋さん

経営コンサルタントで人材育成に力を入れる高橋紀子さんは、これまで幅広い業界とのオンライン面談などから、互いの顔が見えないバーチャル空間が有効であると考え、アバターを使った面談サービスを使い企業内のより良い人間関係の構築を目指す。高橋さんは「バーチャル空間での面談は、将来的に企業内で顔と顔を合わせての話合いができる環境へのきっかけ作り」と話す。その内容や取り組みについて聞いた。

—これまでどのような活動をされてきたんですか。

経営コンサルタントとして奈良県を拠点に、大阪府や京都府、兵庫県などの事業者さんへの人材育成に力を入れてきました。さまざま業界の人材育成や組織活性化といった活動をしながら、若年層の活躍支援にも力を入れ、大学や専門学区でキャリアデザインなどを授業も行っています。その中で最近では人材育成としての研修に、「1on1（ワン・オン・ワン）ミーティング」という対話方式をセットにしてほしいといふ依頼をいただくことが多くなりました。

—具体的にはどういったものですか。

ワン・オン・ワンは上司と部下が1対1で対話することでも、組織としての成長を目指していく手法の一つです。研修ですとそれっきり、それだけで終わってしまいますが、大半ですが、ワン・オン・ワンを指導するとなると、継続的に携わるものになります。例えば企業内で気兼ねなく相談でき

より良い人間関係の構築、対面式のワン・オン・ワンへ

—今後、どのようにこのシステムを使っていきたいとお考えですか。

経営コンサルタントで人材育成に力を入れる高橋紀子さんは、これまで幅広い業界とのオンライン面談などから、互いの顔が見えないバーチャル空間が有効であると考え、アバターを使った面談サービスを使い企業内のより良い人間関係の構築を目指す。高橋さんは「バーチャル空間での面談は、将来的に企業内で顔と顔を合わせての話合いができる環境へのきっかけ作り」と話す。その内容や取り組みについて聞いた。

—これまでどのような活動をされてきたんですか。

経営コンサルタントとして奈良県を拠点に、大阪府や京都府、兵庫県などの事業者さんへの人材育成に力を入れてきました。さまざま業界の人材育成や組織活性化といった活動をしながら、若年層の活躍支援にも力を入れ、大学や専門学区でキャリアデザインなどを授業も行っています。その中で最近では人材育成としての研修に、「1on1（ワン・オン・ワン）ミーティング」という対話方式をセットにしてほしいといふ依頼をいただくことが多くなりました。

—これまでどのような活動をされてきたんですか。

経営コンサルタントとして奈良県を拠点に、大阪府や京都府、兵庫県などの事業者さんへの人材育成に力を入れてきました。さまざま業界の人材育成や組織活性化といった活動をしながら、若年層の活躍支援にも力を入れ、大学や専門学区でキャリアデザインなどを授業も行っています。その中で最近では人材育成としての研修に、「1on1（ワン・オン・ワン）ミーティング」という対話方式をセットにしてほしいといふ依頼をいただくことが多くなりました。

—企業内では個別の指導が有効であるということですか。

ワークショップの時に、個別でやることがあれば、集合でやることもあります。そこから感じるのは、やっぱり両方大事だということです。そしてその時に感じたのですが、複数の地域に会社があるところで、オンラインで話をすることは、オンラインで話をすることがあります。その時に、画面オフをしている人の方が、よく話すことが多いのです。

—それは年齢や性別による違いのものですか。

特に年齢や職種に関係はないものでした。あと、大手企業さんですと若年層の育成に力を入れてらっしゃいます。そういうところではワン・オン・ワンを取り入れていますが、20歳代になると、「上司と2人きりは、圧を感じ話しにくい」ということで、ツイッター

—その会話エリアは、表示されている空間に複数設置できますか。

右端に1つ、また左端に

—既に活用されたことはありますか。

アリエアを設定することができます。そのエリ

アに2人で入れば1対1で

話すことができますし、複

数で入れば、そこに入った

全員と会話ができるもので

ることができます。そのエリ

アに2人で入れば1対1で

話すことができますし、複

数で入れば、そこに入った

全員と会話ができるもので

ことができます。そのエリ

アに2人で入れば1対1で

話すことができますし、複</p